

令和2年度 コムズ公開講座

語り合いの場がまちに未来の種をまく

令和2年9月19日(土)、埼玉県で「ヘルシーカフェのら」という誰もが来られる居場所を作り、そこを拠点として様々な活動を行う新井純子さんをお招きし、公開講座を開催いたしました。

第1部は、新井純子さんによる講演会、第2部では、合同会社から私募債協力者の新井秀明さん、女性と防災の会代表の小國恵子さん、桑原地区まちづくり協議会副会長・事務局長の朝山和孝さんと共にトークセッションを行いました。

各地域で取り組んでいる活動の紹介や、始められた経緯、今後の想いについてお話しいただき、問題意識を持ち小さなことから始めること、地域や周りの人たちと繋がりながら輪を広げていく大切さを、改めて感じられる機会となったのではないのでしょうか。今回の講演・トークセッションが、「私、家族、地域から」一歩踏み出すきっかけになれば幸いです。



第1部 講演会

講師：合同会社から 代表社員 新井 純子さん



講師プロフィール

「ヘルシーカフェのら」店主。平成10年大宮市で女性の自主学習グループ「あれあれあれ」を結成し、多くのワークショップを開催。これらの経験と周囲からの応援もあり、住んでうれしいまち、誰もが主役で、助けたり助けられたりできる地域づくりをめざし、平成21年から「ヘルシーカフェのら」を運営。様々な「食」と「おしゃべり」の空間が作られ、多彩なネットワークが広がっている。

問題
疑問

自分自身の子育て体験から「困った」「何だかおかしい」と感じるようになった。

- 例えば
- 孤独な子育て
 - 男女の不平等感
 - 自分と世の中を知る

どの人も、住んで嬉しい街にしたい!

横断的な課題解決の場づくりが必要!

そこで ≧「ヘルシーカフェのら」開店≦



「ヘルシーカフェのら」活動内容

飲食	地産地消100%のランチ提供(地元の農家さんの野菜を使用)
販売	野菜やお米、手づくり品
広場	様々なワークショップの提供、家族カフェ、車座カフェ、通称「おじさん講座」、大学生による子ども食堂、シングル家族向けワークショップ など
情報提供	チラシや案内物の設置
地域への協力	小学生の町探検、中学生の職場体験、大学生の活動の場やりたいことをやってもらう支援

講演のポイント

地域に住んでいる人は多種多様で魅力的な力を持っている

力を出しあうために「つながる」「つなげる」

気がついた人がはじめる

サービスを受けるばかりでなく、「誰か」「自然」のために力を使う

小さな行動を起こし「場」を作れば、人が集まる。

第2部 トークセッション



合同会社から 代表社員 新井 純子さん

エッセンシャルワーク=生活に関わる仕事はやめられない。行政や国が言うことだけを信じて、自分が右往左往するのは無理があると思います。リアルな状況を見ながら、自分ができる事を考えて行動する、行動したことに対しては自分が責任を負いますよというスタンスが、さらにできるようになったかなと思います。また、サービスを受けるだけではだめだなと実感しました。一人ではできないなら、人と話す。つくづく、話をする場は必要だなと思います。

令和2年6月末退職。7月から、のらの清掃担当に。準備の一端を担うようになりました。地域貢献としては、消防団や自治会の自主防災会の役員等もしている中で、ボランティアをしている多くの女性の方とお話しする機会が増えました。私のように何も知らない人が世の中にはまだまだたくさんいると思うので、どんどん話の輪を広げていかななくてはいけないと思っています。コロナ禍のニューノーマル→みんなが考えるチャンス、新しい社会を作るきっかけになるのではないのでしょうか。



合同会社から 私募債協力者 新井 秀明さん

活動のきっかけは、阪神淡路大震災の活動の報告を聞いたこと。女性がとてもつらい状況だったということを知り関心を持ちました。そこから防災士の資格を取り、自分たちが知りたいと思ったことをグループで学び始めました。地域の自主防災組織にも関わっている中で、「会計担当は女の人に」という発言に対して「皆さん仕事を持っているんだから、性別に関わりなくできる人がやればいいのでは」。そこから3年間会計担当、運営に関わることに。自主防災組織は、10歳~70歳代まで男女半々が参加。みんなで話し合い、気になることを言い合えるように。組織に女性が増えると女性の意見が出やすくなります。『互近助』=向こう3軒両隣が助け合う。自分の命と大切な人を互いに守りあうことが大事。こんな時だからこそ地域で話し合う、近所を散歩して地域を知る。災害時を生き抜くためには、暮らしの視点を持つ女性のリーダーが必要! 女性が黙ってはいけません。女性は黙ってはいけません。



女性と防災の会 代表 小國 恵子さん

桑原地区まちづくり協議会は、平成22年に設立。「私たちの町は私たちが守り育てよう」を合言葉に、住民が町づくり活動に参加しやすい環境を整えてきました。最初にフリーマーケットを開催しました。青壮年有志の会、桑原ジュニア(女子会)、学生部などが活動しています。役員会のメンバーは、37%程度が女性で、ボランティア活動経験者が多い。まちづくり=プラットフォーム・人々が集まって意見交換できる場を提供し、それを事業に活かしていく、それがまちづくりなのか。できるだけ女性の意見を聞きながら、男性の意見はほどほどに。最初からあきらめない、まずはやってみる、失敗を恐れない、だめと言わない。



桑原地区 まちづくり協議会 副会長・事務局長 朝山 和孝さん